

須賀川政治新聞 2008年7月号

～須賀川市民ネットワーク行政調査&議会報告～



市議会議員
鈴木 公成

3月議会ハイライト

本当は議会ごとに年4回出したいのですが、議員も財政がキビシイ！と言うことでまとめて報告します

市長との人件費問答に一定の結論 「人員削減で間に合わねば給与カットもある」との見解示す

以前お伝えしたとおり12月に市の職員等の給与が上がったわけですが、どうにも納得行かず、今度は他の自治体の例を上げて「福島県を初めとして全国的に厳しい財政を乗り切るために給与カットが行われている。何故須賀川市では給与カットが出来ないのか？破綻ぎりぎりまでカットしないお考えか？」と質問したところ、市長より「人件費カットのやり方は色々ある。人数をそのまま一人一人の給与をカットする方法もあれば、給与はそのまま人数を削減する方法もある。須賀川市は後者のやり方で、現在職員の90人削減プランを実施中なので、経過を見てほしい。」との答弁がありました。それに対し「では人員削減で間に合わない場合はどうするのか？」と質問したところ「その場合は給与カットもありえる」との答弁を頂きました。

財政が厳しければ給与をカットするというのは当たり前の話だと思いますが、以前から「職員の給与は勧告どおり保障しなければならない」と言っていた市長からこの答弁を引き出したのは大きな収穫だったと考えています。

今後は「間に合わない場合」とはどのような条件の時か？ということをも具体的に考えなければいけないのですが、市長の任期もありますので、一旦了解としました。

市長が変わっても市としての人員削減プランに大きな変化は無いと思いますので、しばらくは削減の経過を見守りたいと思っています。

6月議会報告

ついに相楽市長の最後の議会。最後まで気を緩めず全力で質問をぶつけました。

4年で2692万円は高すぎる？市長退職金について質問

全国的に首長の退職金が高いと言われていますが、須賀川市も例外ではありません。むしろ調査した所、県内他市と比べても高いということが分かりましたので、今回はこの問題に取り組んでみました。

現在須賀川市の市長の退職金は4年で2692万円となっています。これは勤続35年以上の職員退職金の平均額2645万円(過去3年平均)とほぼ同等の額です。たった4年で約40年勤めた人と同等の退職金というのは多すぎるのではないかとというのが1つ目の疑問です。

また、退職金は任期ごとに支給されますので、3期12年やれば合計8000万円以上となります。(さらに元職員の方が市長になった場合は、職員時代の退職金も含めると合計1億円を超えてしまいます。)

これら多選時の問題も含めて額の妥当性について質問したところ、

「条例でそう決まっている、議会の議決も得ている」という説明しか帰って来ませんでした。また、市長から「鈴木議員がもし40才で市長になって3期やってもまだ52才。そこからまた就職先を探すのも大変でしょう？そういう意味でもある程度の額が必要なんですよ」という補足がありました。こちらも納得できませんでした。やはりこの額には明確な根拠が無い様に感じます。妥当性について今後さらに議論が必要でしょう。

さて、次に今回の本丸「他市との差」についてご説明します。

退職金の算出方法は
「給与月額 × 在籍月数 × 支給掛け率」
という計算式で表されます。(他の自治体も掛け率が違うだけの同じ式です。)

県内13市の首長退職金支給掛け率ランキング

55/100	福島市、須賀川市
50/100	郡山市、南相馬市
48/100	田村市、二本松市、伊達市、本宮市
46/100	会津若松市
45/100	いわき市、相馬市、喜多方市
35/100	白河市

ここで重要なのが掛け率です。掛け率が高くなればなるほど退職金は高くなるのですが、県内の13市の掛け率を比較すると、須賀川市の掛け率は55%と、福島市と並んで最高の掛け率となっています。掛け率だけでは分かりづらいので、例として最高率の須賀川市と最低率の白河市の退職金を比較すると

須賀川市 月給102万円 × 48ヶ月 × 55/100 = 2692万円
白河市 月給103万円 × 48ヶ月 × 35/100 = 1730万円

以上のように月給は白河市の方が高いのに、退職金は約1000万円も須賀川市の方が高くなってしまいます。

そこで「これは問題ではないか？最低の白河市に合わせるとは言わないが、せめて平均に合わせる努力をすべきではないか？平均に近づけば市民の理解も得られると思うがいかがか？」と質問したのですが、「審議会で適正に審議している」との答弁で、直ちに見直す考えは無いようでした。

まあ、私も支給直前にこの問題を持ち出してもすぐには見直さないと考えていたのですが、今回持ち出した理由は退職金の見直しは市長交代の時期しかないだろうと考えていたからでもありますので、次期市長及び審議委員の皆さんには是非この事実を受け止めて頂いて、平均に近づける努力をして頂きたいと思っています。

注意 首長の退職金問題については、市長が悪いと言っている訳ではなく、制度に問題があるという考えですので、誤解の無いように。「制度を憎んで、人を憎まず」ですね。

6月議会その他の質問

Q、団塊世代の大量退職による退職金危機問題は怎么样了？退職金カットは必要ないか？

A、ピークは平成26年ごろ、約9億円予想されるが、問題ない。

Q、テクニカルリサーチガーデンの土地が約29億円売れ残っているようだが、売れなければ市民がツケを払うのか？

A、その場合一時的に市が肩代わりしますが、その後も頑張って売るから大丈夫です。

Q、下水道事業は借金が120億円もあり、さらに200億円作るという。本当に大丈夫か？

A、当局の試算では赤字になりません。大丈夫です。

コラム 新人議員 お悩み中

～ 議員は市民の側か？ 経営側か？ ～



議員になると様々な場面で賛成反対の立場を明確にしなければならないのですが、その判断が非常に難しくいつも悩んでしまいます。

少し前「子供の医療費無料化の年齢引上げ」を求める請願が出されました。小学校6年まで医療費を無料にしてほしいと言うような内容です。それで私は「あーこれは良いな。賛成しよう」と思って賛成したのですが、最終的には23対4で不採択となってしまいました。それで私は「えー！ 何で？」と思って反対された議員さんに理由を尋ねた所「一番はお金の問題。出してやりたいのは山々だが、今の須賀川の財政を考えると厳しい、よって反対。鈴木君もこれからは経営的な面も考えないとダメだよ」と言うんですね。「なるほど、一理ある」と思いました。しかし今度は賛成した議員さんに尋ねた所「確かに経営面も大事。しかし、議員は市民の願いを届けるために来てるんだから、その議員が市民の願いを潰すのも如何かと思う。請願については特別おかしなものでない限り、全部通してあげる位でも良いと思う。」という答えが返ってきました。それでこちらも一理あると思っ

て、悩んでしまったんですね。経営側に立って「余分なお金はありません、あれもダメこれもダメ」なんて言うのも気が引けるし、かといって市民の側に立って「あれもこれも無料にしろ！」なんて言うのも問題だと思っ

たと思っ

たと思っ

たと思っ

たと思っ

たと思っ

市民のギモン

～ 何で財政が厳しいのに公務員にボーナスがでるの？ ～

公務員にボーナスが出ると、あちこちのテレビで「今年の公務員のボーナスは平均 万円です」なんて報道されますね。これを見た国民は大抵「何で財政が厳しいのに公務員にこんなに沢山ボーナスが出るの？」と思われると思います。

私も以前から疑問に思っていたので、今回の議会で質問したところ「勧告に従っている。議会の議決を得ている。法律で出しても良いことになっている」という答弁が返ってきました。何とも他人事のような答弁です。しかし、ここで注目してもらいたいのは、法律で「支給できる」とは書いてあるが「支給しなければならない」とは書いていないと言うことです。簡単に言えば議会でいくらでも調整できるのに、現在はそういう議論がなされていないと言うことです。この問題を真剣に議論できるようにするには改革派の首長に登場してもらわなければならないかなと現時点では思っ

たと思っ

たと思っ

質問コーナー

Q1.大阪の橋下知事が涙をこぼすシーンを見ると、鈴木議員も市役所で意地悪されてないかと心配になります。大丈夫でしょうか？

A1.ご心配ありがとうございます。大阪の橋下知事は公務員改革という点で主張が似てますので、私も応援しているところです。

さて須賀川市役所の場合どうかといいますが、どの職員さんも概ね親切に接して

くださりますので大丈夫ですよ。(若干意地悪な人もいるかなという程度です。)ただ1回だけ、給与引上げについて反対の一般質問した時に「こんなに説明しているのに、どうして分かってくれないんだ！」と感極まって涙が出そうになったことはあります。今思うと恥ずかしいのですが、それだけ純粋な信念を持っていたのかなと思います。もちろん今でも信念は持っていますが、橋下知事や渡辺大臣の活躍を見ていると知事や大臣との権限の差を痛感します。首長なら「やる！」と決めれば大抵実現出来ますが、1議員ですと証拠を集めて「ここがおかしいんじゃないですか？」と外堀から埋めていくしかありませんから。とりあえず今はそれらの活動を通して少しずつ改革につなげて行きたいと思っています。

～ 編集後記 ～

今回は相楽市長最後の議会ということで、市長のこれまでの業績を褒め称える質問にしようかと思いましたが、やはりそれでは議員になった意味が無いということで、あえて厳しい質問にしました。(あまり結果は出せませんでした)

市長が変わっても問題点については厳しい態度で臨むつもりですが、今後はもう少し市長と共に新しい須賀川を作っていくということにも力を入れたいと思っています。

ご意見 市内和田立石17-7 TEL/FAX 050-1295-4085 鈴木公成まで